

平成27年度ひょうご「まちおこし」支援事業

三木ウッドカヌープロジェクト

成果報告書

(合板カヤックづくり)

三木商工会議所

事業概要、目的

当事業は、目的・難易度の異なる体験型イベント「三木ウッドカヌー アカデミー」を2回（合板カヤックづくり、本格ウッドカヌー製作）開催することで、金物のまち三木の道具と周辺地域の間伐材を活用する林商工連携事業にも繋がり、阪神地域のアクティブシニア層を中心にターゲットとし、家族との絆、仲間との連帯感を創出するコミュニティビジネスや他の施設・施策と有機的に結び付けることでシニアの聖地づくりという都市戦略展開事業を目指す。

事業内容

○三木ウッドカヌーアカデミー（体験型イベント）

「合板（ベニヤ）カヤックづくり体験」

開催期間：6月27日（土）～7月5日（日）

開催場所：三木ウッドカヌーアカデミー工房（三木市観光協会2F）

参加定員：3組

参加費：40,000円（税込み）

実施月日	実施内容（会議・調査等）
H27年 6月27日（土） 9：00～17：00	○開校式 ○カヌー座学 ○製作実習（船側部分、船底部分製作）
H27年 6月28日（日） 10：00～16：00	○製作実習 （船側部分と船底部分の貼り合せ）
H27年 6月29日（月） 10：00～16：00	○製作実習 （船底部分の接続箇所をガラスクロステープにエポキシ樹脂を塗る）
H27年 6月30日（火） 10：00～16：00	○製作実習 （船底部分の銅線を切り、ヤスリで磨く）
H27年 7月1日（水） 10：00～16：00	○製作実習 （船側部分を鉋で面取り）
H27年 7月2日（木） 10：00～16：00	○製作実習 （バルクヘッド、ビームの取り付け、デッキの仮取り付け）
H27年 7月3日（金） 10：00～16：00	○製作実習 （デッキの本付け、コクピット製作、船底、船側部分の樹脂塗り）

H27年 7月4日(土) 10:00~17:00	○製作実習 (デッキ接続部の木栓貼り、デッキの樹脂塗り)
H27年 7月5日(日) 10:00~14:30	○製作実習 (船体全体の磨き、船底のペンキ塗り) ○閉校式、懇談会
H27年 7月6日(月) 10:00~16:00	補講 ○製作実習 (船体のペンキ塗り)
H27年 7月7日(火) 10:00~15:00	補講 ○製作実習 (船体のペンキ塗り)
H27年 7月8日(水) 10:00~14:00	補講 ○製作実習 (船体のペンキ塗り)
H27年 7月9日(木) 13:45~17:00	補講 ○製作実習 (船体のペンキ塗り)
H27年 7月13日(月) 13:00~15:00	補講 ○製作実習 (船体のペンキ塗り)

事業成果

周知・PRについて

当事業の三木ウッドカヌー アカデミー(体験イベント:合板(ベニヤ)カヤックづくり、本格ウッドカヌー製作)の募集については、計画どおりターゲットとしていた阪神地域のアクティブシニア層を中心にカヌー関連施設やものづくり経験者等へチラシ(500枚)及びポスター(65枚)を配布し、新聞社(神戸、毎日)からの取材により広域的に周知したが本年度は、問い合わせが少なく、昨年度に申込みや問い合わせのあった方々へ連絡したが、体調不良、再就職、引越しなどの理由により申込みされなかった。そこで、7月2日(木)~7月8日(水)の間で、(株)イオンリテール三木店の1階催事スペースにて展示しPRを行った。



(新聞記事：神戸新聞、毎日新聞)



参加者名：白鳥富貴雄（西宮市）61歳
 岩田 範也（三田市）67歳
 杉浦 義道（三木市）66歳
 製作講師：辻 靖基 氏、岡田 隆夫 氏
 サポート：陰山 明宏 氏
 内 容：①カヌー座学 ②製作工程説明 ③製作実習

当事業の実績づくりとして取り組んだものづくり体験イベント（合板カヤックづくり）は、都市部在住の方を中心にまさにアクティブシニアの方々が集まり期待感いっぱい熱心に取り組まれた。概ね、はじめてカヤックづくりに挑戦される方で、道具

(のこぎり、かんな、のみ) の使い方から指導にあたった。

参加者間の交流についても、すんなりと深まり、冗談や私情など挟みながら、時には協力しあって、時には1人で製作された。講師である辻氏をはじめ、岡田氏や昨年度当事業卒業生の陰山氏との信頼関係も良く、充実した時間が流れた。

事務局としては、講師のサポート役として当事業の第2期生に満足頂けるように対応した。参加者の方には「やはり三木の道具は切れ味が違う。カヤック製作に必要な工具類が全てある。」というご意見も頂きうれしく思えた。

事業計画どおり製作は、スムーズに進んだが一部困難な工程もあり、やり直しの部分もあり、急遽、補講期間を設けて対応した。開催期間中には、新聞記事を見られた観光客や興味を示すシニア層の見学者も十数名、工房に足を運ばれた。見学者からは「まだ、現役で仕事をしているために時間が取れないが、次年度には参加したい。実物を見ると作ってみたい。」などの意見を頂き、関心はあるようだ。

参加者は、完成したカヤックを早速、当工房の前を流れている美囊川で試乗されたり、今後、カヤックに乗る場所や日程などを参加者間で計画されていた。今回の参加者も昨年同様にシニアとは思えない程のエネルギー感が満ち溢れ、満足気な様子で修了した。

我々としては、まだまだ、実績づくりの小さな前進であるが、今回の3名の方が当事業の記念すべき第2期生として友人や仲間にPRして頂き、次回は製作指導者又はサポート役として当事業に関わって頂ければ徐々にネットワークの拡大に繋がるものと確信した。

(製作風景写真)

白鳥様





岩田様



杉浦様

